

平成21年度事業の概要

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

1 一般会計事業

(1) 農場の生産衛生の強化に関する事業(12事業)

ア. 家畜生産農場清浄化支援対策事業(中央畜産会・補助)

豚オーエスキー病のワクチン接種費用の一部を補助するとともに、牛ヨーネ病、その他清浄農場維持に必要な支援対策及び吸血昆虫媒介疾病等の発生・流行防止を推進し、家畜の損耗防止と経営の安定を図った。

	補助金交付戸数	補助金交付頭数
牛	516	14,363
豚	156	813,818

イ. 家畜衛生対策事業(オーエスキー病清浄化推進)(群馬県・補助)

豚オーエスキー病ワクチンを対象豚全頭に接種した経営に対して奨励費を交付した。

補助金交付戸数：154戸

補助金対象頭数：812,944頭

ウ. 豚オーエスキー病清浄化推進事業(群馬県・受託)

豚オーエスキー病の清浄化を推進するため、オーエスキー病対策協議会の開催、検討会及び清浄化推進データの蓄積、広報等を実施した。

エ. オーエスキー病抗体検査促進事業(自主)

豚オーエスキー病の清浄化を図るため、生産農場におけるウイルス抗体保有状況を調査した実績に応じて奨励費を交付した。

奨励費交付戸数：282戸

促進費交付頭数：4,217頭

オ. オーエスキー病全頭接種移行促進対策事業(自主)

豚オーエスキー病ワクチン全頭接種事業に参加していない豚飼養者が、平成22年度に全頭接種を行うことを要件として、21年度下期から該当する豚全頭にワクチンを接種した場合に、接種実績に応じて奨励費を交付した。

奨励費交付戸数：1戸

カ. 高病原性鳥インフルエンザ防疫強化緊急対策事業(中央畜産会・補助)

高病原性鳥インフルエンザのウイルス侵入防止をはじめとした防疫水準の向上を図るた

め、生産者、県内関係者を対象とした防疫検討会を開催した。

キ. 群馬県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習支援事業（自主）

高病原性鳥インフルエンザの堅固な防疫体制を構築するために、群馬県が実施する防疫演習の一部について、生産者団体の協力を得て支援した。

ク. 家畜防疫互助基金造成等支援事業（中央畜産会・補助）

豚コレラ等の海外悪性伝染病が発生した場合に、飼養する牛、豚の自主淘汰に伴う損失を生産者等が互助補償する全国的な仕組みについて、生産者等に対する普及啓発、参加手続き事務等を実施した。

事業参加戸数：

牛 738 戸

豚 237 戸

ケ. 公共牧場予防接種円滑化対策事業（自主）

公共牧場の預託牛が補助事業により予防接種を行う場合の手続き等について定めるとともに、接種費用の自衛防疫協議会間の格差を是正するために必要な費用を本会が補助した。

奨励費交付団体数：18 団体

受益頭数：285 頭

コ. 馬飼養衛生管理特別対策事業（中央畜産会・受託）

競走馬以外の馬飼養者、馬関係診療獣医師への実態調査を実施して、馬衛生管理技術の向上を図った。

調査戸数：57 戸

サ. 家畜衛生対策運営基盤強化事業（自主）

家畜衛生関係事業の円滑な推進を図るために必要な資料を作成し、配付した。

シ. 予防注射推進強化対策事業（中央畜産会・助成）

家畜防疫事業の推進と予防注射の実施の徹底を図るため、資料等を配布して普及啓蒙を行った。

（2）畜産物の安全性確保、畜産理解醸成に関する事業（4事業）

ア. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（中央畜産会・補助）

24ヶ月令以上の死亡牛に対するBSE検査の円滑な実施を推進するため、死亡牛の輸送、検査に必要な経費の一部について補助金を交付した。

補助金交付頭数： 2,514 頭

イ. 牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務（日本畜産副産物協会・受託）

牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に対して支払われる促進費の交付に必要な事務を行った。

対象処理事業者数： 6 社

ウ. 地域畜産ふれあい体験交流活性化事業（中央畜産会・助成）

畜産物の安全性等に対する社会的な要請に配慮した生産活動の取組を推進する一環として、消費者が畜産の生産現場を理解するための生産体験、対話交流や情報提供を行い、畜産経営活動の促進や地域の活性化を図った。

参加消費者数 155 人

エ. 生産情報管理強化推進事業（群馬県・受託）

農場の生産記録・情報の確実性を評価して基準を満たす農場を認証する仕組みを構築し、群馬県産畜産物の生産情報を開示する手段として、生産者に認証取得を推進した。

認証取得農場数： 3 戸

（3）畜産経営への支援・情報提供に関する事業（11事業）

ア. 地域畜産支援指導等体制強化事業（地方競馬全国協会・補助）

畜産経営への支援活動、消費者等への理解増進活動、食育への参画、地方競馬の振興等に関する事業効果を高めるための事業を実施した。

イ. 畜産経営流通対策事業（畜産振興推進）（群馬県・補助）

畜産経営の経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成のための個別支援、畜産経営データベース等の情報化技術を活用した個別・集団支援、畜産経営の高度化に必要な情報の提供や支援、個人・法人・県域を越えた企業的経営等の多様なニーズに対応した経営支援等を実施した。また、消費者等から求められる安全で安心な国産畜産物の生産、資源循環の中心としての畜産の役割を十分に果たす観点から、畜産農家が求める経営技術に有用な情報を提供した。

支援対象戸数：延べ 327 戸

ウ. 畜産環境保全特別指導事業（中央畜産会・補助）

補助事業等により設置したふん尿処理施設の抱えている課題等について、現地調査および現地指導を実施し、家畜ふん尿の適切な処理を推進した。

現地調査及び指導戸数： 60 戸

エ. 家畜排せつ物利用モデル等普及促進事業（全国農業協同組合連合会・補助）

堆肥センターに対し、経営基盤の強化に有用な情報提供や調査を実施するとともに、畜産農家と耕種農家の連携を推進するための場づくりを行い、具体的方法について検討を行った。

対象堆肥センター数： 8 か所

オ. 畜産特別資金推進指導事業（中央畜産会・補助）

大家畜経営体質強化資金、大家畜経営活性化資金、養豚経営活性化資金借受者の経営の改善及び安定を図るため、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導等を実施した。

指導戸数： 36 戸

カ. 公庫資金活用推進支援事業（日本政策金融公庫・受託）

日本政策金融公庫資金の借り入れに際して必要な、経営計画の作成等について支援を実施した。

支援戸数： 5 戸

キ. 畜産生産性向上促進総合対策事業（中央畜産会・補助）

生産技術向上のために必要な知識の習得を目的とした地域における勉強会等を開催し、飼料資源をめぐる国内外の環境変化に対応するための情報を提供した。

支援戸数： 178 戸

ク. 豚枝肉格付分析情報提供事業（自主）

豚枝肉格付データを収集し、独自の分析を加えた情報を四半期毎に提供して、枝肉品質改善を促進した。

事業参加戸数： 112 戸

ケ. 畜産経営情報公開支援事業（自主）

畜産経営情報を公開する場所を安価に提供することにより、畜産経営のニーズに応えると共に、本県畜産に関するポータルサイトとしての「ぐんまの畜産」ホームページの役割強化を図った。

コ. 畜産機械貸付等指導事業（畜産近代化リース協会・受託）

畜産近代化リース協会が貸付けた機械・車両等についての保守管理及び適正な使用に関する指導を実施した。

指導貸付先数： 7 戸

サ. 畜産系産業廃棄物処理円滑化推進事業（自主）

「家畜の死体」の産業廃棄物としての適正な処理を推進するため、牛及び豚用の産業廃棄物管理票（マニフェスト）を作成して配布した。

（4）畜産経営の安定化を図る事業（19事業）

ア. 肉用牛肥育経営安定対策事業（農畜産業振興機構・補助）

肉用牛肥育経営の肥育牛について個体登録をおこなうとともに、出荷牛に対し、収益性が低下した四半期において補てん金を交付した。

本年度登録戸数 321 戸
本年度登録頭数 30,227 頭
補助金交付戸数 275 戸
補助金交付頭数 28,004 頭

イ. 肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業（農畜産業振興機構・補助）

肉用牛肥育経営安定対策事業の契約生産者で、同事業の算定において推定所得が物財費割れとなった場合に、物財費割れの6割を補てんした。

補助金交付戸数： 275 戸
補助金交付頭数： 28,004 頭

ウ. 肥育牛経営等緊急支援特別対策事業（農畜産業振興機構・補助）

肥育期間の短縮等生産性向上の取組を行い、配合飼料使用量の低減を図る計画を作成し、実施した場合に、肥育牛の出荷頭数に応じた交付金を交付する。

補助金交付戸数： 182 戸
補助金交付頭数： 4,108 頭

エ. 肥育牛経営強化推進指導事業（中央畜産会・補助）

枝肉価格の低迷、飼料価格の高騰等に対応するための生産性向上、飼料自給率向上、環境対策の強化、早期出荷への取組等に対し奨励金を交付する事業の円滑な推進を図るための事業。

補助金交付戸数 255 戸
補助金交付頭数 46,038 頭

オ. 肉用牛肥育経営安定対策運営強化事業（自主）

肉用牛肥育経営安定対策事業の円滑な運営を図るため、関係団体が実施する業務に必要な

な経費の一部について補助した。

カ. 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（農畜産業振興機構・補助）

肉用子牛生産者戸の肉用子牛について個体登録をおこなうとともに、販売・保留子牛に市場価格が低落した四半期において補給金を交付した。

補給金契約戸数 520 戸
個体登録頭数 13,858 頭
補給金交付戸数 60 戸
補給金交付頭数 1,872 頭

キ. 肉用子牛生産者補給金制度運営体制支援事業（農畜産業振興機構・補助）

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施を図るために、制度運営の体制強化を図った。

ク. 子牛生産拡大奨励事業（全国肉用牛振興基金協会・補助）

肉専用種繁殖経営に対して、肉専用種子牛の市場価格が低落した四半期において、繁殖めす牛の増頭・維持を図った経営に子牛の販売・保留奨励金を交付する事業の事務をおこなった。

ケ. 肉用子牛資質向上緊急支援事業（農畜産業振興機構・補助）

肉専用種繁殖経営の収益性の改善を図るため、地域で定める「肉用子牛資質向上促進計画」に基づき、優良な種雄牛精液による人工授精ならびに優良な繁殖雌牛への更新の取組を行った場合に、支援交付金を交付した。

補助金交付戸数： 85 戸
補助金対象頭数： 555 頭

コ. 肉用子牛資質向上緊急支援推進事業（全国肉用牛振興基金協会・補助）

肉用子牛資質向上緊急支援事業の円滑な実施を図るための事業を実施した。

サ. 肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業（農畜産業振興機構・補助）

飼料費の上昇分に見合う水準まで地域保証価格（肉豚価格がこの価格を下回ったときに生産者積立金により補てん金の交付が行われる価格）の引き上げができるよう、生産者積立金の積み増し原資の一部を地域肉豚生産安定基金から供給した。

シ. 養豚経営体質強化肉豚安定出荷緊急促進事業（農畜産業振興機構・補助）

肉豚の出荷を安定させるための肉豚出荷の早出し、繰延べ、母豚の早期更新等を内容とする計画に即した取組を行う生産者に対し、特定疾病対策及び生産性向上対策に要する経

費を補助し、季節的に出荷頭数が増減する肉豚の出荷安定を図った。

補助金交付集団数： 11 集団

集団構成戸数： 130 戸

ス. 群馬県畜産物価格安定推進事業（自主）

肉豚価格差補てん事業を円滑に実施するための事業を実施した。

セ. 酪農ヘルパー傷病時等利用円滑化事業（酪農ヘルパー全国協会・補助）

酪農従事者が病気、事故等により就業不能となり、ヘルパー利用が一時的に増加した場合の利用料負担の軽減を図るため、増加分の経費の一部について補助した。

補助金交付件数： 29 件

ソ. 酪農ヘルパー事業円滑化対策事業（酪農ヘルパー全国協会・特別）

酪農ヘルパーの育成・定着を図るのに必要な体制の整備及び熟練した酪農ヘルパー要員確保の推進、ヘルパー作業の適切な実施に必要な資格の取得等に必要な経費に対する補助を実施した。

酪農ヘルパー利用組合数： 12 組合

タ. 酪農ヘルパー利用拡大推進事業委託事務（酪農ヘルパー全国協会・受託）

酪農ヘルパー利用組合 13 組合の組織運営体制の調査、加入農家等の利用実績管理のシステム化及び加入農家等の利用実態等の調査を実施した。

チ. 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務（自主）

酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業を円滑に推進するための事業を実施した。

互助金交付件数： 29 件

ツ. 畜産経営活性化対策事業（自主）

育牛、養豚の労働負担の軽減を目的として活動している畜産ヘルパーの利用に対して、奨励費を交付した。

助成金交付組合数： 3 組合

（5）畜産の生産振興に関する事業（12事業）

ア. 肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業（農畜産業振興機構・補助）

1年間に繁殖雌牛の飼養頭数が増加した事業参加経営に対し、実績に応じて奨励費を交付した。さらに、受精卵の移植により意欲的な和牛生産を行った酪農経営に対し、実績に応じて奨励費を交付した。

	補助金交付戸数	補助金交付頭数
繁殖経営	55	219
肥育経営	26	196
酪農経営	114	444

イ. 肉用牛振興推進指導事業（全国肉用牛振興基金協会・補助）

肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業の適正かつ円滑な実施を図るための会議の開催、現地確認調査及び現地指導を実施した。

ウ. 肉畜養鶏等振興対策事業（肉用牛繁殖基盤強化）（群馬県・補助）

繁殖牛の育種価データの評価・解析により育種価情報を提供するとともに、解析結果を活用した育種価の普及促進のための研修会を開催し、改良指導等を実施した。また一定の要件を満たして肉用牛生産者集団が導入した優良繁殖雌牛に対して補助を行い、本県肉用牛繁殖基盤の強化を図った。

育種価データ数： 29,016 件 評価頭数： 4,409 頭

導入戸数： 36 戸

導入頭数： 44 頭

エ. 肉畜養鶏等振興対策事業（肉用牛肥育経営改善対策）（群馬県・補助）

肉用肥育牛の生産性向上計画に基づく生産性向上対策に取り組み、かつ出荷月齢の短縮された出荷頭数に応じて補助金を交付した。

補助金交付戸数 224 戸

補助金交付頭数 1,600 頭

オ. 肉用牛産肉能力平準化促進事業（家畜改良事業団・受託）

肉用牛の産肉能力を評価するために調整交配を実施し、その結果について調査してとりまとめた。

調整交配実施頭数： 97 頭

カ. 和牛改良組合活性化事業（群馬県和牛改良組合連絡協議会・受託）

県内の和牛改良組合に対して繁殖基盤強化のための事業を実施した。

指導組合数： 7 組合

キ. 地域養豚振興特別対策事業（農畜産業振興機構・補助）

養豚生産者集団が行う種豚改良や養豚生産振興のための活動に対して補助を行うとともに、必要な支援を実施した。

補助金交付集団数： 20 集団

集団構成戸数： 266 戸

ク. 地域養豚振興特別対策事業（日本養豚協会・受託）

遺伝的能力評価の分析のために必要な種豚の繁殖性・産肉性を調査するとともに、地域の養豚生産動向や養豚経営の実態について基礎的な調査を行った。

調査戸数： 229 戸

ケ. 養豚振興対策円滑化事業（自主）

地域養豚振興特別対策事業を円滑に進めるために必要な活動を行った。

コ. 酪農牧野振興対策事業（公共牧場利用促進）（群馬県・補助）

公共牧場の機能強化、入牧利用率の向上を図るため、簡易な放牧施設の整備、草地更新放牧地の害虫駆除。外部寄生虫駆除に必要な経費の一部について補助した・

補助金交付牧場数 4 カ所

サ. 粗飼料効率的利用促進事業（日本草地畜産種子協会・補助）

公共育成牧場利用及び粗飼料生産を促進するため、事業推進会議、研修会等を開催した。

シ. 青刈りとうもろこし生産・給与に係る現地研修会（自主）

青刈りとうもろこしの生産調製・給与技術に係る講演及びその実演等を内容とする研修会を開催し、自給飼料の生産・利用拡大に向けた取り組みを推進した。

（6）家畜の改良、増殖に関する事業（8事業）

ア. 酪農牧野振興対策事業（乳牛等改良促進）（群馬県・補助）

家畜共進会の開催により、家畜の能力改良を推進した。

出品頭数

乳牛： 94 頭

和牛： 72 頭及び 7 組

種豚： 29 頭

イ. 家畜共進会運営強化推進事業（自主）

県内で実施された家畜共進会の運営に対して助成した。

助成金交付団体数： 6 団体

ウ. 第17回群馬県肉豚共進会事業（自主）

種豚の資質向上を目的として肉豚共進会を開催した。

出品頭数：156 頭

エ. 和牛全共出品対策事業（自主）

出品候補牛作出のための基礎雌牛の調査、指定交配、高育種価受精卵の配布を実施した。

調査頭数：187 頭

指定交配頭数：22 回 29 頭

受精卵配布数：42 頭

オ. 肉畜養鶏等振興対策事業（養豚生産強化）（群馬県・補助）

優良種豚を外国・県外及び県内から導入して種豚生産者へ貸し付け、優良遺伝子の活用を促進するとともに、育種価評価普及促進のための調査、種豚生産農場の衛生管理技術向上のための調査・指導等を行った。

貸付戸数：8 戸

導入頭数：17 頭（うち県内8頭、県外9頭）

調査戸数：40 戸

指導戸数：28 戸

カ. 肉畜養鶏等振興対策事業（家畜登録促進）（群馬県・補助）

家畜の能力改良を促進するため、家畜の血統整理や登録・登記を推進した。

登録頭数

乳牛：3,341 頭

和牛：2,937 頭

種豚：1,039 頭

山羊：37 頭

キ. 家畜登録事業（自主）

登録頭数

乳牛：2,435 頭

和牛：919 頭

種豚：98 頭

山羊：12 頭

登記頭数

和牛：7,006 頭

種豚：929 頭

山羊：43 頭

ク. 家畜登録円滑化事業（自主）

家畜登録を円滑に進めるために必要な活動を行った。

（7）畜産の調査・研究に関する事業（7事業）

ア. 新規参入円滑化推進事業（中央畜産会・受託）

肉用牛繁殖基盤強化総合対策事業等（新規参入円滑化等対策事業）によって農協等から飼養管理用施設等の貸し付けを受けた新規参入者に対し、調査及び経営改善支援等を行った。

指導戸数： 2 戸

イ. 放牧畜産展示・研修牧場調査事業（日本草地畜産種子協会・受託）

県内公共牧場の牧場放牧データ等の調査、指導、確認を実施するとともに調査台帳をとりまとめた。

調査牧場数： 3 戸

ウ. 畜産経営支援組織運営実態調査（中央畜産会・受託）

コントラクター等の農業サービス事業者が抱える課題や実態を把握し、今後の効果的な地域畜産支援に資することを目的として、調査を実施した。

調査戸数： 2 戸

エ. 畜産経営技術支援・表彰事業（中央畜産会・受託）

優良な畜産経営体、優れた畜産経営支援・指導者、畜産を核とした地域振興の取り組み、優れた畜産研究開発等の情報収集を行い、畜産経営体に対する普及啓発を図るとともに、畜産大賞への参加を推進した。

中央審査推薦戸数：

地域畜産振興部門 2 件

オ. 改良増殖技術実態調査事業（中央畜産会・受託）

県内に飼養されている全家畜の飼養頭羽数、人工授精実施状況等の調査を行い、家畜改良関係資料としての活用を図った。

カ. 畜産経営実態把握業務（中央畜産会・受託）

全国規模の集計・分析を行って経営支援のための資料を作成する目的で、県内の先進的畜産経営の経営実態を調査した。

調査戸数： 5 戸

キ. 動産担保融資活用体制整備事業（中央畜産会・受託）

新しい資金調達方法として注目されている動産担保融資の利用状況や動産担保融資に対する考え方などの調査を実施した。

調査戸数： 62 戸

（８）地域の畜産振興に資する事業（１０事業）

- ア. 群馬県養鶏協会事務受託
- イ. 群馬県種鶏孵卵協会事務受託
- ウ. 群馬県養蜂協会事務受託
- エ. 群馬県家畜育成牧場連絡協議会事務受託
- オ. 群馬県山羊・めん羊振興会事務受託
- カ. 群馬県養豚協会事務受託
- キ. 群馬県乳牛改良協会事務受託
- ク. 群馬県和牛改良組合連絡協議会事務受託
- ケ. 群馬県家畜人工授精師協会事務受託
- コ. 群馬県畜産技術連盟事務受託

２ 特別会計事業（１１事業）

ア. 肉用牛肥育経営安定対策事業

肉用牛肥育経営の収益性低下を補てんするために、生産者、群馬県、農畜産業振興機構により造成された基金の管理をおこなった。

イ. 肉用子牛生産者補給金制度業務

肉用子牛市場価格の低落時に交付する補給金のために、生産者、群馬県、農畜産業振興機構により造成された基金の管理をおこなった。

ウ. 群馬県畜産物価格安定推進事業

豚枝肉価格の低落による養豚経営への影響を緩和する価格差補てん金のために生産者、群馬県、関係団体により造成された基金の管理をおこなった。

エ. 家畜防疫互助基金補助事業

豚コレラ等の海外悪性伝染病が発生した場合に、飼養する牛、豚の自主淘汰に伴う損失を生産者等が互助補償する全国的な仕組みに対して設けた県段階の基金を管理した。

オ. 死亡牛緊急処理円滑化推進事業

死亡牛に対するBSE検査の円滑な実施を推進するため、検査場所から処理施設までの死亡牛輸送費の農家負担分を預かり、一括して輸送事業者へ支払う会計の管理をおこなった。

カ. 酪農ヘルパー事業円滑化対策事業

酪農ヘルパー事業円滑化対策基金を取り崩して、酪農ヘルパーの組合間相互利用に対する補助、組合運営や出役活動、酪農ヘルパーの実務に必要な資材に対する補助等を実施し、利用組合の活動強化を図った。

利用組合数： 12 組合

組合員数： 562 戸

キ. 酪農ヘルパー利用拡大事業

酪農ヘルパーの増加利用を促進するため、利用実績に応じて利用料金を軽減する補助金を酪農経営に対して交付した。また、ヘルパー作業時等に発生した賠償事故に対する補償保険の保険料の一部について補助を実施した。

増加利用延べ出役数： 3,557 回

ク. 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業

傷病時のヘルパー利用に対して、加入者からの積立金および酪農ヘルパー全国協会が実施する酪農ヘルパー利用拡大推進事業を利用して、経済的負担の軽減を図った。

加入者数： 959 名

互助金支払： 29 名

負担軽減額： 4,760 千円

ケ. 家畜衛生運営基盤強化基金

果実を家畜衛生事業の円滑な推進に必要な経費の一部に充てるため、農畜産業振興機構及び地元により造成された基金の管理を行った。

コ. 畜産経営活性化基金

果実を畜産ヘルパー事業の円滑な運営に必要な経費の一部に充てるため、群馬県及び生産者団体により造成された基金の管理を行った。

サ. 家畜改良積立金

家畜の能力改良等を促進するために実施する事業の経費の一部に充てるため、生産者より拠出された積立金の管理を行った。